

令和2年度 四国防災トップセミナー開催

テーマ:未来を見据えた復興まちづくり～未曾有の災害に備える～

目的: 四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴を通じて、見識を深め、地域防災力の向上を目指す。
(平成12年度から開催しており、今回が21回目の開催)

- 日時: 令和3年1月28日(木) 14:40~17:20
- 場所: 四国地方整備局 災害対策室
- 開催形式: WEB会議 及び 映像配信
- 出席者: 約270名
 - ・市町村の首長70名、代理17名
 - ・四国南海トラフ地震対策戦略会議の構成員20名、代理23名 等
- 報道状況: NHK高松放送局、四国新聞社、日刊建設工業新聞

◆講演①

『壊滅したまちの復興から考える防災の今後』

宮城県 女川町長 須田 善明 氏

- ・東日本大震災からの復興プロセスや手法、復興の妨げとなった制度へ臨機に対応したことを説明
- ・女川町での経験を踏まえ、大震災からすばやくまちを復興するために、各市町村で実施すべきこと・留意すべきことについての重要ポイントを説明
 - ①「何かが起こる前」にしておくこと
 - ②被災直後の対応での心がけ
 - ③復興で大事にすべきと思う点

◆講演②

『地域の事前復興は可能か?』

東京大学大学院工学系研究科
社会基盤学専攻 教授 羽藤 英二 氏

- ・東日本大震災における被害から事前復興を検討することの重要性を説明
- ・事前復興に向けた以下の5つのポイントを解説
 - ①手続きをつくる
 - ②全体像をいち早く掴む
 - ③復興を数字と事例で理解する
 - ④あらかじめ備える
 - ⑤まちのトータルデザインへ
- ・四国における事前復興はどうあるべきかを考える上で重要な視点を提示



四国防災トップセミナー (WEB会議)



須田町長のWEB講演



羽藤教授のWEB講演